

2012年6月27日  
郵便局株式会社 信越支社

## オリジナル フレーム切手「つばめっ子かるた」の販売開始について

郵便局株式会社 信越支社（長野県長野市、支社長 桜井 仁志）では、下記のとおりオリジナルフレーム切手の販売を開始します。

## 記

## 1 切手の概要

名称	つばめっ子かるた
販売開始日	2012年7月2日（月）
販売部数	1,000部（予定）
販売郵便局	燕市及び弥彦村内の全郵便局（16局） ※簡易郵便局は除きます。
シート構成	1シート 80円切手×10枚
販売単位	シート単位で販売します。
販売価格	1シート 1,200円

2 切手デザイン  
別添のとおり

## 3 その他

本フレーム切手は、7月5日（木）より郵便局ウェブサイト「郵便局のネットショップ」でもお取り扱いします。<http://www.postal-jp.com/psc/goods/index.html>

※なお、「郵便局のネットショップ」でお取扱するフレーム切手には販売価格（1,200円）のほかに郵送料等が加算されます。

以上

## 【報道関係の方のお問い合わせ先】

郵便局株式会社信越支社企画部（総務担当）  
電話：（直通）026-231-2231（FAX）026-231-2227

## 【お客さまのお問い合わせ先】

郵便局株式会社信越支社営業本部（物販担当）  
電話：（直通）026-231-2368

※「フレーム切手」は郵便事業株式会社の登録商標です。

【参考】

「つばめっ子かるた」は、2006年に合併して新たに生まれた燕市の一体化を図る「燕ひとつプロジェクト」の一環で生まれました。市民から読み句を募集し、新潟市出身で『ころわん』、『ごんぎつね』、『手ぶくろを買いに』、『かさじぞう』などの絵本の創作で知られる黒井健さんが、雪国の歴史と伝統であった雁木のある町並みを描いています。



絵本作家 黒井 健が描く つばめの情景

「つばめっ子かるた」は、燕市の各地域で受け継がれてきた歴史や文化などを、子供たちが楽しく学びながら故郷への誇りと愛着を育んでほしい、そして大人になっても燕市のことを誇らしく語れるようになってもらいたい、という思いを込めて燕市が作成しました。

絵札原画:黒井 健 読札原画:長谷川 白鳩



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80



NIPPON 80

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に海印がかかることがあります。

© 2006 燕市発行

